

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立越谷東高等学校)

目指す学校像	志を高くチャレンジ精神に満ちた生徒を育て、きめ細かく面倒見のよい指導を実践し、地域から信頼される学校
--------	--

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒の学習力を高める。 2 生徒一人一人の希望にそった進路決定を実現させる。 3 規律ある生活態度を身につけさせ、部活動を活性化させる。 4 地域との連携を深め、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 1 月 2 2 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<b>【現状】</b> ○Google Classroomを活用して、課題や連絡を継続している。 ○自発的な学習習慣を定着させるため、小テストや宿題考査・スタディサポートを実施している。 <b>【課題】</b> ○基礎学力の向上を図るため、学習習慣に身につけさせる。 ○学習端末の導入等、ICTを活用した授業を一層推進し、授業公開や授業研究等により、授業改善を進める。	○学習習慣の定着と基礎学力の向上  ○指導力の向上による組織的な学習支援体制の充実	①学習習慣を身につけさせるため、家庭学習を前提とした授業を継続する。 ②生徒の学習意欲を高め、学力を向上させるため、実力テストの実施と結果を活用する。	①学校評価生徒アンケート「予習・復習をしている」75%以上を目指す。 ②実力テスト結果を昨年度よりも向上させ、経年変化を分析し、フィードバックする。	学習力の向上を図る指導が概ね達成。 ①授業アンケート「予習・復習をしている。」と回答した生徒が54% ②実力テストの結果では、昨年度より大幅な向上は見られないが、基礎学力の定着が見られた。	B	家庭学習が定着するようにGoogle Classroomやベネッセclassiを活用した。しかし、家庭学習が多く生徒に定着していないので、来年度に向けて改善策を検討する。各教科でICTの活用について共有し、授業改善が行われた。来年度もICTの活用をより一層推進し、授業改善に役立てる。
2	<b>【現状】</b> ○生徒の進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を継続。 ○小論文・面接指導を全職員で行うことで、一人一人丁寧に指導ができていく。 <b>【課題】</b> ○計画的な進路指導を継続し、生徒の希望進路を実現させる。 ○一般選抜での受験までを見据えた対策を充実させる。	○生徒一人一人の進路希望の実現に向けた計画的・組織的な進路指導の継続	①移設した進路資料室の活用を進め、計画的な進路指導の実施により生徒の進路を実現させる。 ②一般選抜での受験も見据え、進学希望者への進学補習を実施する。 ③多様な受験形態に応じた柔軟な進路指導・面接指導を実施する。 ④就職希望者に対して、企業研究・面接指導を実施する。	①進路資料室のレイアウト等を工夫して活用を進めるとともに、進路行事を継続して行い、進路未決定者数を0に近づける。 ②毎学期、長期休業中に進学補習を実施する。大学短大の現役進学者数を増加させる。(R4 130人) ③学校評価アンケート「進路に関する情報は、生徒に十分に提供されている」90%以上を目指す。 ④就職内定率100%を目指す。	計画的組織的な進路指導をほぼ達成。 ①進路資料室が効果的に活用された。進路未決定者の指導を継続して行っている(1/22現在) ②毎学期・長期休業中に進学補習を実施。現役進学者数119名。(1/22現在) ③「進路に関する情報は、生徒に十分に提供されている。」93% 「進路指導を十分にしている。」94% ④学校幹旋就職希望者 内定率100%(1/22現在)	A	進路資料室を効果的に活用し、多様な受験形態に応じた進路指導、面接指導を継続して実践していく。学校推薦型選抜対策の一層の充実と、一般受験の生徒に向けた進学補習についても内容等を検討していく。
3	<b>【現状】</b> ○全教員が共通理解のもと生徒指導を実施することにより、落ち着いた環境を整えている。 ○感染防止対策を講じ、全ての学校行事・部活動を実施した。 <b>【課題】</b> ○全教員が共通理解のもと生徒指導を継続して実施する。 ○生徒の主体的な活動の支援を継続する。	○きめ細かく丁寧な生徒指導の実践による基本的な生活習慣の確立の継続  ○生徒の主体的な活動の支援による部活動の活性化	①あいさつ運動の実施等により、挨拶を励行し、言葉遣いの指導を徹底する。 ②統一基準による整容指導を徹底する。 ③全教員により身だしなみ指導を実施する。	①学校評価生徒アンケート「挨拶や言葉遣いの指導を十分にしている」90%以上を目指す。 ②学校評価アンケート「頭髪や服装指導を十分にしている」90%以上を目指す。 ③毎学期に身だしなみ指導を実施。	継続した生徒指導の実践をほぼ達成。 ①「挨拶や言葉遣いの指導を十分にしている。」93% ②「頭髪や服装指導を十分にしている。」95% ③更衣の時(5月、11月)に身だしなみ指導を実施。	A	更衣時に身だしなみ指導を行うことにより、全教員が共通理解のもと継続して生徒指導を行うことができた。引き続き挨拶の励行と規律の遵守の徹底により、落ち着いた環境を維持し、生徒の主体的な活動を支援していく。
4	<b>【現状】</b> ○感染防止対策を講じ、全ての学校説明会を実施した。 ○感染防止対策を講じ、PTA・後援会総会、理事会は全て実施した。 <b>【課題】</b> ○実施時期・実施内容、実施方法等を工夫して学校説明会の特色化を進め、魅力ある情報発信を行う。 ○今後もPTA・後援会と連携して生徒の健全育成を図り、学校運営に活かしていく。	○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進  ○保護者と連携した学校運営の推進による本校教育活動の理解深化	①学校説明会を特色化し、魅力ある情報発信を行う。中学校訪問を全教員で実施する。 ②家庭への情報発信の継続のため、新システムを導入する。 ③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。	①学校説明会の中学生の参加者数が延べ1,200名以上。(R4 1130名)を目指す。 ②新メールシステムを導入し、効果的に活用する。 ③越谷市内中学校との授業交流を実施すると共に、地域のボランティア活動に参加する。	魅力ある情報発信がほぼ達成できた。 ①学校説明会中学生の参加者数は延べ1452名(R4 1130名) ②新メールシステムを効果的に活用することができた。 ③越谷市立東中学校との授業交流を実施し、本校から2教科3名が訪問。中学2年生の上級学校訪問は138名参加。川の国清掃ボランティアに93名参加。	A	学校説明会の特色化等の魅力ある情報発信により、昨年度より学校説明会の参加者数が増加した。来年度も引き続き魅力ある学校説明会を実施する。HPやメールを活用し情報発信をすることができた。
			①意見や要望を学校運営に活かす、保護者からの学校満足度を向上させる。 ②PTA・後援会に学校行事の協力を依頼し、参加者数を増やす。	①学校評価保護者アンケート「本校に入学してよかったと感じる」(入学満足度)80%以上を目指す。 ②PTA・後援会役員の学校行事への参加者数増加を目指す。	保護者や地域との連携が概ね達成。 ①保護者アンケート「本校に入学してよかったと感じる。」93%(R4 84%) ②体育祭の受付業務、文化祭ではアクセサリ一製作、10月の交通安全指導に多数参加。	A	PTA・後援会と連携して各学校行事を行うことができた。また、保護者アンケートでの入学満足度が向上した。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和6年2月1日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
家庭学習が定着するようにGoogle Classroomやベネッセclassiを活用し、課題を提供した。家庭内学習の向上は意識の問題もあるため、定着させるのは大変だと思うが、紙の資料も併用しながらICTを進めていかざるを得ない。ICTの活用について、時代に対応する変化に柔軟な印象を感じる。教科担当によってICTの活用に差があるので、引き続き、教科で情報共有を行い、ICT活用が一層推進されることを期待する。	
国公立大学の受験等、進学実績の変化に対して、授業内容の見直し等、今後どのように対応していくのかに関心がある。進学意識が強い生徒が多くなっている。本校では全教職員が協力して小論文指導や面接指導を行うことで、生徒一人一人にきめ細かい指導ができていく。進路実現に向けて、よりきめ細かく、より効果的な進路指導を行い、さらに進路資料室の整備・活用を進めていかれることを期待したい。	
身だしなみ指導を更衣時の年2回に全教職員で実施し、共通理解を図ることにより、より効果的な生徒指導を行うことができた。またあいさつ指導、交通安全指導の姿も見かける。生徒の校内・校外での挨拶がよくできていると感じている。身だしなみとおしゃれの違いについて理解し、華美にならない身だしなみを意識できるとよい。校則の見直し等、時代の変化に対応する柔軟な印象を感じている。	
毎回特色のある学校説明会を実施することにより、参加者数を増やすことができた。今後も、より魅力のある学校説明会が実施できるよう検討していく。JRC・インターアクト部は地域と連携して、ボランティア活動や募金活動を行っている。学校行事については、実施方法を検討し、PTA・後援会と連携して開催することができた。今年度のPTA活動への御協力に感謝申し上げます。今後もPTA・後援会として越谷東高校発展のために協力していきたい。	